

留 学 報 告 書
-----------

記入日:2020年1月7日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ネバダ大学リノ校 現地言語: University of Nevada, Reno
留学期間	2019年8月～2019年12月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Liberal Arts <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年12月24日
明治大学卒業予定年	2022年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月下旬～5月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	21046
創立年	1874

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		円	
宿舍費	3,190	319,000円	
食費	3200	320,000円	ミールプラン:2585ドル
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	200	20,000円	
現地交通費		円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	1,150	115,000円	形態:明治大学とネバダ大学の保険両方に加入
渡航旅費	1,870	187,000円	
ビザ申請費	340	340,000円	
雑費		円	
その他	580	58,000円	technology fee や international fee など
その他		円	
<b>合計</b>	<b>10,530</b>	<b>1,053,000円</b>	

## 渡航関連

## 渡航経路

往路 出発地:成田 目的地:リノ 経由地:ロサンゼルス

復路 出発地:リノ 目的地:成田 経由地:ロサンゼルス

## 渡航費用

①往復チケットを購入した場合

航空会社:JAL

料金:187000 円

②片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社: 料金: \_\_\_\_\_

復路 航空会社: 料金: \_\_\_\_\_ ∴合計: \_\_\_\_\_

## 航空券購入方法

 旅行代理店(店名: \_\_\_\_\_)  インターネット(サイト名:sky scanner で探し HIS で予約しました)  その他( \_\_\_\_\_ )

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)

 学生寮(寮の名前:Wolf Pack Tower)  アパート  ホームステイ

2)部屋の形態

 個室  相部屋(同居人数 1)

3)共有部分

 バス  トイレ  キッチン( 自炊可  自炊不可)

4)住居を探した方法:

大学のハウジングのサイトから

5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

Wolf Pack Tower は臨時の寮だったので、来年度以降は使われないと思います。

学生寮に住んでいる留学生は大体が Wolf Pack Tower か Sierra Hall でした。

インターナショナルハウスというアパートに住んでいる人も多かったです。

## 現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)

 なし あり(治療を受けた場所: \_\_\_\_\_)

2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)

 なし あり(問題の内容や相談した人等: \_\_\_\_\_)

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

留学生や現地学生と情報交換をしていました。危険を感じたことは一度もなく、日が落ちてからは一人で出歩かないようにしました。基本的には危険を感じたことはないです。最低限注意していれば問題ないと思います。

4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の Wi-Fi は夜などの人が多い時間は繋がりにくい時がありました。大学近くの寮に住んでいた友達の問題なかったと話していました。大学構内の Wi-Fi に接続しているときは LINE の通話機能が使えず少し不便でした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で両替して現金を持って行きましたが、基本的にはクレジットカードを使って生活していました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

飲み慣れた薬

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法, 支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った, 現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input checked="" type="checkbox"/> 8単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Cultural Anthropology	人類学入門
科目設置学部・研究科	人類学科
履修期間	2019fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に165分が1回
担当教授	Christine Johnson,
授業内容	人類学の入門的内容
試験・課題など	オンラインでの試験 2 回と A4 数枚程度のレポートの課題が 3 つありました。
感想を自由記入	授業時間が大変長いのですが、ゲストスピーカーを呼んでくださったり、授業に関係する映画を観たりすることも多かったので、飽きることなく受けられました。試験も教科書の内容をきちんと理解すれば簡単に解くことができる問題です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Principals of Sociology	社会学基礎
科目設置学部・研究科	社会学科
履修期間	2019fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Joshua B. Padilla,
授業内容	社会学の基礎となる考え方を学んだり、社会学的な視点を用いて実際の社会における現象や事例を考察する授業
試験・課題など	定期試験が 3 回、学期末に 7 ページ以上のレポートの提出、授業内課題(ディスカッションなど)も何回かありました。
感想を自由記入	先生の話すスピードが少し早いので最初はついていくのに必死でしたが、慣れて先生のジョークまで聞き取れるようになると授業の内容への理解をより深められました。また、学期末のレポートは 7 ページ以上と枚数が多いので大変ですが先生や TA の学生の方が親身に相談にのってくださるのでそれほど心配する必要はないと思います。この授業が一番自分で成長を感じた授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
English112A ESL-listening		英語リスニング	
科目設置学部・研究科	IELC		
履修期間	2019fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 50 分が 3 回		
担当教授	Somi Yun		
授業内容	留学生向けの英語のリスニングの授業 実際の授業の音源や動画を中心としたテキストを使用していたので実践的な授業でした。		
試験・課題など	チャプターが終わるごとにリスニングのテストがありました。ほとんど毎回の授業で課題が出されていました。		
感想を自由記入	先生が留学生を中心に教えている方だったので、とても親身になってくださりました。授業ではランダムに分けられたグループでのディスカッションも多かったので、他の国からの留学生と関わるよい機会になりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Emglish112D ESL-composition		英語ライティング	
科目設置学部・研究科	IELC		
履修期間	2019fall		
単位数	3		
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 75 分が 2 回		
担当教授	Benjamin Pellegrom		
授業内容	留学生向けの英語のライティングの授業 3つのエッセイの書き方を学びました。		
試験・課題など	3つのエッセイとポートフォリオ		
感想を自由記入	今まで書いたことのないエッセイ(物語風など)を書くことができたのは自分にとって新しい経験でしたが、あまり先生からのフィードバックをもらうことができず残念でした。課題の指示も不明瞭なことが多く、多くの学生がどんどんやる気をなくしていったので授業の雰囲気はあまり良くなかったです。		
感想を自由記入			

### 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL に向けて勉強
8月～9月	8月: TOEFL 受験
10月～12月	10月: TOEFL 受験 12月: 留学面接 選考結果発表
2019年 1月～3月	
4月～7月	6月: 予防接種 航空券購入 ビザ申請、面接、取得 寮の申し込み 7月: 保険の申請
8月～9月	8月: 出発 9月: 社会学試験
10月～12月	10月: 社会学、人類学試験 12月: 期末試験 帰国
2020年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記(任意)

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私がネバダ大学を選んだのはちょうど良い規模感だったこと(広すぎず、小さすぎない)、日本語学科があったこと(アメリカで何か自分にできることで授業外の時間を利用したかった)のが決め手でした。

住む場所も様々な選択肢があると思いますが、それぞれにメリットデメリットがあると思うので、留学経験者に話を聞くなどして検討することがおすすめです。派遣先が決まっているなら、前年度以前に留学した方に話を聞くと全体の様子が知れてよいのかなと思います。

留学中は日本にいるときより勉強していたように感じます。あまり遊ぶ場所がなかったというのも勉強に集中できた理由だと思いますが、課題、予習復習が大変でした。

また、アメリカでは旅行にはトラブルが付き物だと身をもって実感しました。長距離バスが時間通りに来ないのは当たり前でしたし、飛行機の遅延、欠航によるトラブルも本当に多かったです。よい経験になったなとは思いますが、大変でした。

つらいこともたくさんありましたが、現地学生、その他の国からの留学生との交流はとても楽しく、異文化交流ができたというのはアメリカへ留学してよかったと思える点の一つです。

全体を通して自分の成長を実感することができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。これから留学に行く人や、留学を考えている人は自分が留学で何をしたいのか、何を学びたいのかを明確にし、積極的に行動すれば、充実した留学になると思います。